



新年を迎えてのご挨拶

NPO法人よつ葉福祉会 理事長 井端智子

新年あけましておめでとうございませう。皆様方には幸多き新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。平素は、当法人の運営にご協力賜わり、誠にありがとうございます。

月日の経つのは早いもので、今年も法人設立から早くも10年目になります。私たちがこの地域でこれまでの活動を続けていくことができたのも、関係機関の皆様はじめ、地域の皆様、当法人を支えてくださった多くの皆様のおかげだと深く感謝致します。

この節目の年の年始に思うことは、「初心忘るべからず」です。よつ葉福祉会が設立した頃を思い出し、もう一度原点に戻って気持ちを引き締めて頑張っていきたいと思っています。

福祉の仕事は「アンパンマンの精神」
…(愛と勇気と希望)と「ドラえもん

のポケット」…(知識と経験と技術)

が必要であると言われます。利用者や思いやり、職員同士がお互いを思いやり、上司が部下を思いやり、みんなが法人を思いやり、希望と勇気を持って

新しい仕事に挑戦していくことができる「アンパンマンの精神」が必要で、そして私たちの仕事は、考える仕事であるとも言われています。利用者

のことを一生懸命に考え、どうすればより良い支援ができるのだろうと考え、その人の立場に立って考え、もっと良い方法がないのだろうかと考え、「根柢を基に」「利用者の状態に合ったより良い支援」を考えていく。つまり「ドラえもんのポケット」を大きく

膨らませる必要があります。そのため今年には人材育成に力を入れていきたいと考えています。

これまでの職員研修(全体研修、一般職・管理職研修、各事業所研修、外部研修、外部研修伝達研修等)に加え、

新たに4月から「三寿福祉会」と法人間交流合同研修会を計画しています。職員一人ひとりが現状の知識・経験にあった研修に参加できるように、両法人とも「所属長推薦」で全職員がいずれかの研修に参加することとします。自分が参加した研修成果を職場内で自らが実践していくためのシステムを作り、職員全員が知識を実践できるようにしていきます。

私たち職員一同、利用者さんにとって、また地域にとって頼りにしていただけるよつ葉福祉会を目指し、少しでも職員の質の向上につながるよう、日々努力を重ね一歩ずつ進んでいきたいと思っています。本年も皆様方にはより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第9回よつ葉祭りを開催しました

実行委員(てんとう虫) 西垣 千穂

11月9日(日)に第9回よつ葉祭りを開催しました。いろんな計画を立て、参加してくれる方々に連絡を取り準備を進めてきた中で、前日に天気予報を確認すると雨!降水確立が60%になっていました。職員全員で翌日の準備をしながら「雨かも…」と言いながらも「大丈夫!」と思い準備をしました。当日の朝、予報通り雨が降っていました。小雨だったのでそのまま大丈夫と思いつつも、雨雲が近づいてくる予報に変わりはありませんでした。実行委員会で検討した結果、「今まで準備をしてきたのだから開催しよう!」と開催を決定しました。

出店依頼をしていたお店の方や出演依頼をしていた方にも雨の中協力をしてもらいました。和太鼓やコーラスもギリギリの時間まで雨の様子を見て考えていただきましたが、楽器が濡れると演奏できないので不参加になり大変残念でした。お客様や協力していただく皆様が雨に濡れないようにとブルーシートをテント代わりに張り、模擬店の場所を少し移動したりとみんなが工夫・協力したことがとても良かったと思います。「きいちゃん」と「なしじい」も雨の中来てくれ、じゃんけん大会や握手会をして子どもたちと楽しみ、出店していただいたお店の紹介もしてくれました。



写真撮影では、みんなと手をつないだり、ハグをしたりたくさんの人と写真を撮りました。私たち職員も楽しむことができました。バルーンアートでは、「かきおうじ」や帽子・動物の風船を作ってくれて、みんなが並んでできあがりを楽しみに待っていました。腹話術では、窮屈なバッグから出てきて「たません」を食べたり、突然の時間変更にも対応していただきました。他にもみんなが楽しめる出演をたくさんしていただき、感謝しています。



雨で寒く、どうなることかと心配しましたが、皆さんの笑顔がたくさん見られ、いろんな人の協力があり、とても楽しい1日になったと思います。良い天気で開催できることが一番ですが、地域の方、出演者の方、出店者の方、利用者、職員みんなが協力して開催できたよつ葉祭りはとても素晴らしいものだったと思います。改めて、今回ご協力いただきました各関係者の皆様方に、職員一同厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



日帰りバス旅行に行ってきました!

てんとう虫 生活支援員 大谷光弘

10月21日、ハーベストの丘へ日帰りバス旅行に行ってきました。利用者の方には雨具を準備していただいたのですが、雨模様

だった予報に反して当日は良い天候に恵まれ、気持ち良く出かけることができました。秋物の服だと汗ばむほど暖かい日でした。

「ハーベストの丘」の入口から、昼食を食べる会場までは徒歩で15分ほどです。入口から入るとすぐ右側にたくさんの花が咲いていました。道中には吊り橋や動物があり、見るものがたくさんあり、あつという間に会場に着きました。吊り橋では楽しんで渡っている人、恐る恐る足を踏み出す人、いろんな人がいましたが、私が一緒に同行した人は高いところ

に吊り橋の横にある水の入ったケースを見ながら「揺れるのがわかりやすくして良いね」と話しながら景色を楽しみました。

今年の日帰りバス旅行、お昼ごはんは「季節の野菜カレー」を皆でいただきました。新鮮な野菜に厚切りベーコンが入り、とてもおいしくいただくことができました。皆さん満足した様子で召し上がっていました。食事後には、以前てんとう虫を利用されていた仲間と再会し、当時から通所されている人は「久しぶり!」「元気だった?」と声をかけ、とてもうれしそうにされていました。

昼食を済ませた後は、パン作りグループと散策グループに分かれての活動です。パン作りグループの人は、用意された生地を好き



なかたちに形成し、焼き上がったものを持ち帰ります。アンパンマンやハローキティ、熊など、いろいろなおいしそうなパンが出来上がっていました。「うちの人が様々でしたが、きつとおいしかったことでしょう。」

散策グループは、植物や動物を見て回りました。きれいに咲いた草花や人気のカピバラ、とても大きな牛などを見ました。グループの中でも通所が一番長い利用者に先導をお願いし、園内をぐるりと1週しました。スワンボートの浮かぶ池や、広い草原でのんびり過ごしている羊を見て癒されまし

た。園内を走る列車のような乗り物に手を振ると、乗車している人たちが手を振り返してくれ、人との繋がりも体験できる良い機会になりました。

平日であったため、特別なイベントは行われていませんでしたが、時間いっぱい楽しむことができました。休日には音楽界やわんちゃんショーなど、催しものもたくさんあるそうです。また機会があれば行きたいと思える日帰りバス旅行になりました。



よつ葉福祉社会からのお知らせ

各団体様から助成金をいただきました

【日本郵便株式会社様】

ソプラスでは昨年4月から自立訓練（生活訓練）事業を行っていますが、その施設整備の改修費用として日本郵便株式会社様から154万円の助成金をいただきました。

自立訓練に通所される人たちは、この整備された施設で訓練を行い就職を目指します。また、施設を新しく整備できたことにより、就職を目指す人たちの生活訓練の場として、多くの障がいのある人たちを受け入れることが可能となり、利用してもらうことで上質な支援、サービスを提供していくことができるようになりました。

ご助成いただいた建物は、この喜びと感謝を忘れず、末永く大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。

【公益財団法人みずほ福祉助成財団様】

このたび、公益財団法人みずほ福祉助成財団様からトイレ増設のための工事費用として119万円の助成金をいただきました。

ソプラスでは平成25年1月の開所当初から、トイレが1か所しかなく、日増しに人数が増えるにつれ、トイレを利用することが大変困難になり、利用者の方にはご迷惑のかかる状況となっていました。トイレを2か所増設できたことにより、いつでも気軽に利用できる環境を整えることができ、また利用者や職員の仕事の効率が上がり、健康面への心配も払拭されるなど、利用者、役職員一同大変喜んでおります。

ご助成いただいたトイレは、この喜びと感謝を忘れず、末永く大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。

（事務局長 大矢哲司）

苦情相談委員会・苦情解決第三者委員のお知らせ

当法人では、福祉サービスへの苦情を適切に解決するシステムを構築することにより、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図ることを目的に苦情相談委員会を設置しています。また、苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために第三者委員を設置しています。

福祉サービスを利用するすべての人の権利が擁護され、個人の尊厳を大切にされた事業所運営を心掛け、日常の支援を行って参ります。